



グラツときたら身を守れ!

地震への備え

過去の主な被害

1983年5月26日

日本海中部地震

マグニチュード7.7

弘前市の被害:ケガ人1名、住家被害62棟

弘前市震度5
(弘前大学地震計)



写真提供:弘前市

2011年3月11日

東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)

マグニチュード9.0

弘前市の被害:ケガ人15名、全域で停電発生

弘前市震度4



※写真は岩手県の被害の様子

Photo by ECOCCO PROJECT

青森県で想定される最大規模の地震・津波被害想定(2016年9月更新)

青森県は地震の震源別に被害想定をまとめました。以下は弘前市の被害想定です。

	太平洋側海溝型地震	日本海側海溝型地震
マグニチュード	9.0	7.7~7.9
最大震度	6弱	6弱
死者数	40名	5名未満
負傷者数	1,600名	470名
建物全壊	1,200棟	1,800棟
避難者数	4,200名	4,100名
停電戸数	70,000戸	16,000戸

※人的被害、建物被害および避難者数は、最も被害が大きくなる「冬の深夜」を想定しています。

被害を減らすには、普段からの備えと発生した時の行動が重要です!

発生前の備え

家具の固定

室内に潜む危険ポイントは早めに対策をし、被害を未然に防ぎましょう。

L字金具

家具と壁を固定し
転倒を防ぎます



つり下げ式 照明器具の補強

チェーンなどで止めて落下を
防ぎましょう

ポール式金具

ねじ止めをせず天井
と家具を固定します



ガラスの 飛散防止フィルム

ガラスが割れてもガラ
ス片の飛散を防ぎます。

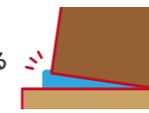


防災カーテン

万一火災が発生しても
延焼を防ぎます

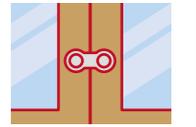
ストッパー式器具

家具の下に挟み込み、重心を後に移動させる
ことで家具が前に倒れにくくなります



開き扉ストッパー

地震の揺れによる扉の開放を
防止し、戸棚の中にある食器
類の飛び出しを防ぎます



非常時の連絡先と避難経路を家族で確認

●家族が離ればなれで被災した場合は、安否確認が必要です。

●被災地では携帯電話やメールが繋がりにくくなりますので、NTTの「災害用伝言ダイヤル171」や「災害用伝言板」などの活用方法を知っておきましょう。

Check 37ページ

●自宅から避難所までは実際に歩いて、所要時間や安全なルートをチェック!



備蓄品・非常持出品の準備

Check 33~34ページ

●備蓄品は最低3日分の水と食料品が目安。定期的にチェック。

●非常持出品は避難生活に必要な物を。リュック系がベスト。

●玄関や寝室など、すぐに持ち出せるところに置きましょう。



水害

土砂災害

暴風

竜巻・雷

台風

火山

火災

地震

停電

雪害



グラツときたら身を守れ!

地震への備え

グラツときたら?

自宅では

- ☑ 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する
- ☑ 慌てて外に飛び出さない
- ☑ 無理に火を消そうとしない



屋外では

- ☑ ブロック塀や自動販売機などから離れる
- ☑ 看板や割れたガラスの落下に注意
- ☑ 丈夫なビルの中に避難する
- ☑ 崖の近くでは落石やがけ崩れに注意



車の運転中は

- ☑ 急ブレーキはかけず、緩やかに速度を落とす
- ☑ ハザードランプを点灯し、周りの車に注意を促す



揺れがおさまったら

- ☑ 火の始末をする(揺れている時はやけどの恐れがあります)
- ☑ ドアを開けて出口を確保する
- ☑ ラジオなどで情報収集をする
- ☑ 避難するときは電気のブレーカーを下げる(復旧した時の火災を防ぐため)



Check 緊急地震速報を見聞きしたら?

緊急地震速報は、気象庁が震度4以上の地震が予想される地域に対して発表します。テレビ・ラジオ・携帯電話・防災行政無線等で情報を入手できます。見聞きしたら、1分程度は安全な場所で身を守りましょう。

※震源に近い場所では、速報より早く揺れが始まる場合もあります。



見聞きしたら、すぐに身を守る行動を! 突然起きても慌てずに!



停電

突然発生しても慌てないように万全の備えを 停電への備え

+ 過去の主な被害

1991年9月28日 台風19号

市内67,400戸停電 / 4日後ほぼ全面復旧

2011年3月11日 東日本大震災

市内ほぼ全域で停電 / 翌日全面復旧

2015年10月23日 電力施設トラブル

市内・西目屋村11,123戸停電 / 約1時間30分後復旧



2015年10月の停電では、西バイパスを中心に幹線道路の信号機が消えた

このほか、落雷・火災・大雪・交通事故など、様々な要因で発生します。

発生前の備え

懐中電灯、携帯ラジオ、乾電池、 携帯・スマートフォン充電器、カセットコンロの準備

場所の確認だけでなく、年に2回は各機器の動作確認をしましょう。寒い時期の停電に備えて、反射式ストーブのチェックも!

日持ちする食料の用意

停電時でも自宅で数日間過ごせるよう、インスタント麺やレトルト食品など、普段食べているもので賞味期限の長い食料を多めにストックしましょう。定期的な入れ替えも忘れずに。



冷凍庫に保冷剤を

普段から冷凍庫に保冷剤を入れておくと、停電時に冷蔵庫内の温度上昇を抑えられます。

ブレーカーの位置をチェック!

ブレーカーが原因で停電することがあります。すぐに復旧できるよう操作方法を確認しましょう。

車の給油はゆとりをもって

東日本大震災のような大規模停電が発生すると、ガソリンの調達が難しくなります。車のガソリンは、目盛りが半分を切ったら給油する習慣をつけましょう。

パソコンはバックアップを

パソコンの使用中に停電が起きると、まれに復旧しないことがあります。定期的にバックアップをとるなどの対策をしましょう。



水害

土砂災害

暴風

竜巻・雷

台風

火山

火災

地震

停電

雪害